

イバラキ病と類似症状を示す牛の確認について

本年10月中旬、県内でイバラキ病と類似症状を示す牛が確認されました。

(遺伝子検査の結果、イバラキ病は否定しています)

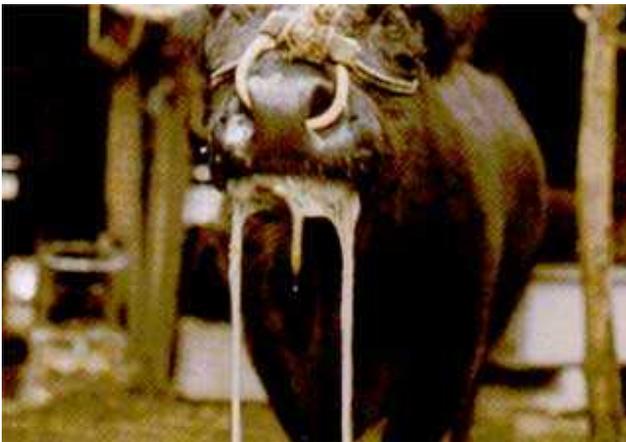
症状は、微発熱、流涎、嚥下障害を呈していることから、注意頂き、下記の症状が出た場合は、臨床獣医師の診療を受けてください。

原因は、吸血昆虫によって媒介されたウイルスによると考えられ、牛、水牛に伝播します。ウイルスの流行には季節性(夏～秋)があり、冬を迎え、気温が低下してきた時期は昆虫がいなくなることから、流行は終息していきます。

また、牛から牛への接触感染はありません。

バクテリア病の 症状

- ほとんどが症状なし(不顕性感染)
- 軽度の発熱、食欲不振、流涎、結膜充血、泡沫性流涎、死流産
上記発症牛の一部に嚥下障害(咽喉頭・舌麻痺による)が見られ、脱水や誤嚥性肺炎により死亡することがあります。



飲水の逆流(嚥下障害)



舌先端の持続的突出(舌麻痺)

主な伝播様式

吸血昆虫により媒介されます。牛から牛への接触感染はありません。

対策

治療は、効果のある治療法はなく、対症療法となります。

嚥下障害発症牛に対しても、補液及び誤嚥性肺炎の防止のための処置となります。
症状が認められた場合は、臨床獣医師の診療を受けてください。

【姫路家畜保健衛生所】 TEL:079-240-7085 緊急時:090-5967-0036・0037
【朝来家畜保健衛生所】 TEL:079-673-2331 緊急時:090-5967-0038・0039
【淡路家畜保健衛生所】 TEL:0799-45-2411 緊急時:090-5967-0040・0041